



令和5年7月21日  
松山河川国道事務所

『国道11号 <sup>こまつ</sup>小松バイパス』(一部区間)が  
令和5年9月24日(日)に開通します!!

1. 開 通 日 : 令和 5年 9月24日(日)
2. 開 通 区 間 : 愛媛県西条市 <sup>こまつちょうしんやしき</sup>小松町新屋敷
3. 延 長 : 0.4km

※開通式典・開通時刻等の詳細な内容については、後日お知らせします。

=====開通により期待される効果=====

整備効果①: 周辺道路の渋滞緩和

整備効果②: 渋滞緩和による交通事故減少

整備効果③: 東予港を経由する物流の効率化

※本施策は、四国圏広域地方計画[No. 1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト]の取組に該当します。

(発表先) 愛媛番町記者クラブ

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 松山河川国道事務所

副所長(道路) 矢野 裕紀(やの ひろき)

tel: 089-972-0034(代表)

◎工務第二課長 澤田 英典(さわだ ひでのり)

tel: 089-972-0259(課直通)

◎主な問い合わせ先

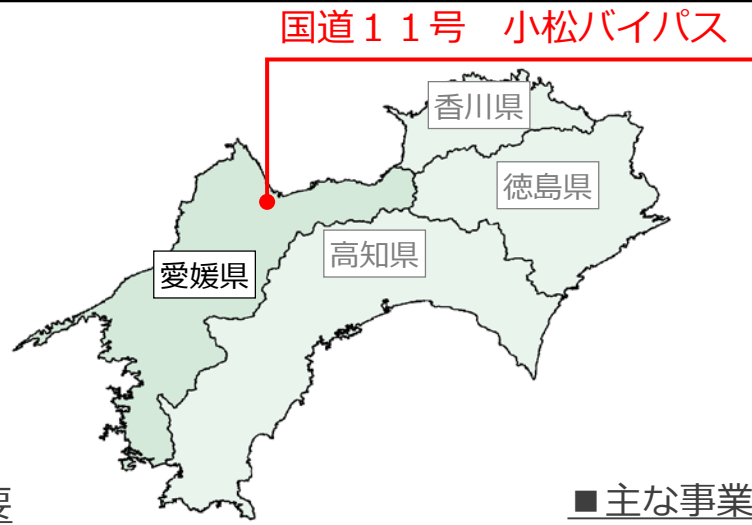


# 国道11号 小松バイパス 事業概要

○国道11号 小松バイパスは、国道11号の愛媛県西条市小松町における交通渋滞の緩和及び交通安全の確保を図るとともに、今治小松自動車道いよ小松北ICへのアクセス強化を目的とする道路です。

○この内、令和5年9月に西条市小松町新屋敷の0.4kmが開通します。

## 位置図



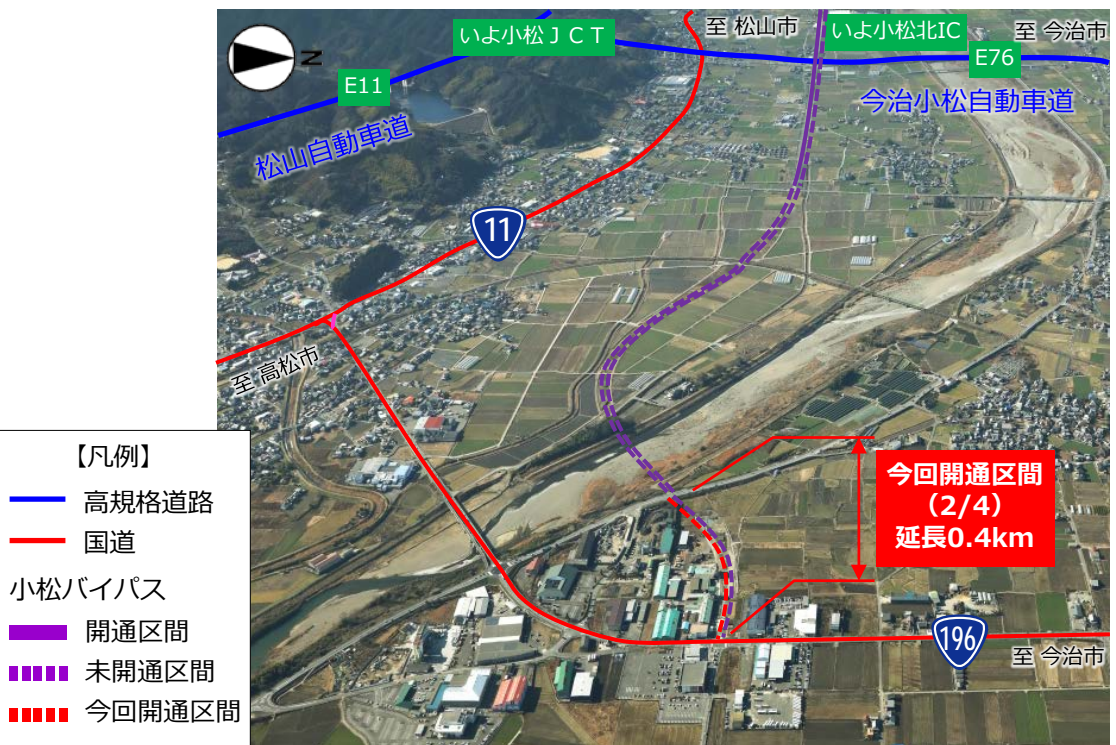
## 事業概要

構造規格	第3種第2級
設計速度	60km/h
標準幅員	25.00m (完成4車線) 16.25m (暫定2車線)

## 主な事業の経緯

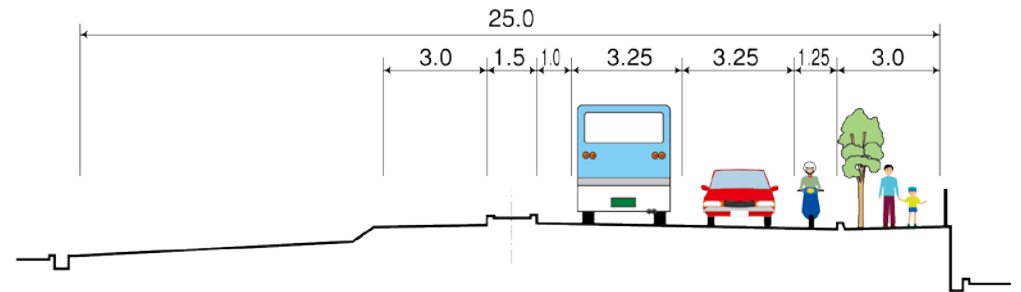
平成3年度	事業化
平成11年3月	0.2km区間暫定供用
平成13年3月	0.7km区間暫定供用
平成20年3月	1.1km区間暫定供用

## 詳細図



この地図は、国土交通省国土政策局「国土数値情報」をもとに編集・加工したものである。

## 標準断面図 (暫定2車線)



- 【凡例】
- 高規格道路
  - 国道
  - 小松バイパス
  - 開通区間
  - 未開通区間
  - 今回開通区間





# 周辺道路の渋滞緩和

こまつちょうしん やしき

- 朝夕の通勤時間帯において、小松町新屋敷交差点及び西条セレモニー会館前交差点では渋滞が発生しています。
- 今回の開通により、小松バイパスへの交通転換が図られ、**周辺道路の渋滞緩和**が期待されます。

## 〈現道の渋滞状況：朝の通勤時間帯〉



**周辺道路からの交通が集中  
先詰まりが発生し渋滞**



撮影日：R4.10.25(7:40頃)  
資料) 渋滞長調査結果 (R4.10.25)

## 〈現道の渋滞状況：夕方の通勤時間帯〉

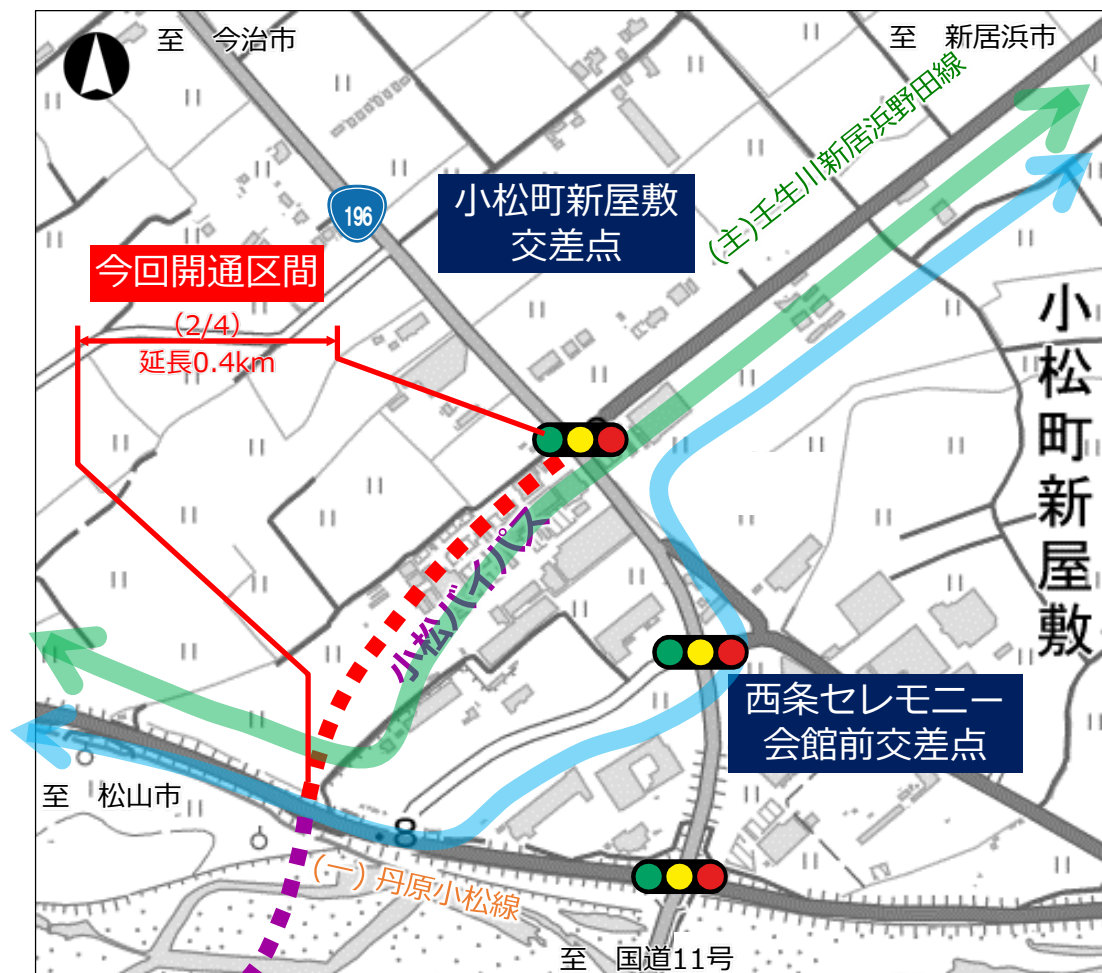


**周辺道路からの交通が集中  
先詰まりが発生し渋滞**



撮影日：R4.10.25(17:50頃)  
資料) 渋滞長調査結果 (R4.10.25)

## 〈開通後の利用経路状況〉



国土地理院地図を基に作成

・小松バイパスへの交通転換により  
小松町新屋敷交差点～西条セレモニー会館  
前交差点間に集中する交通の分散による  
渋滞緩和に期待

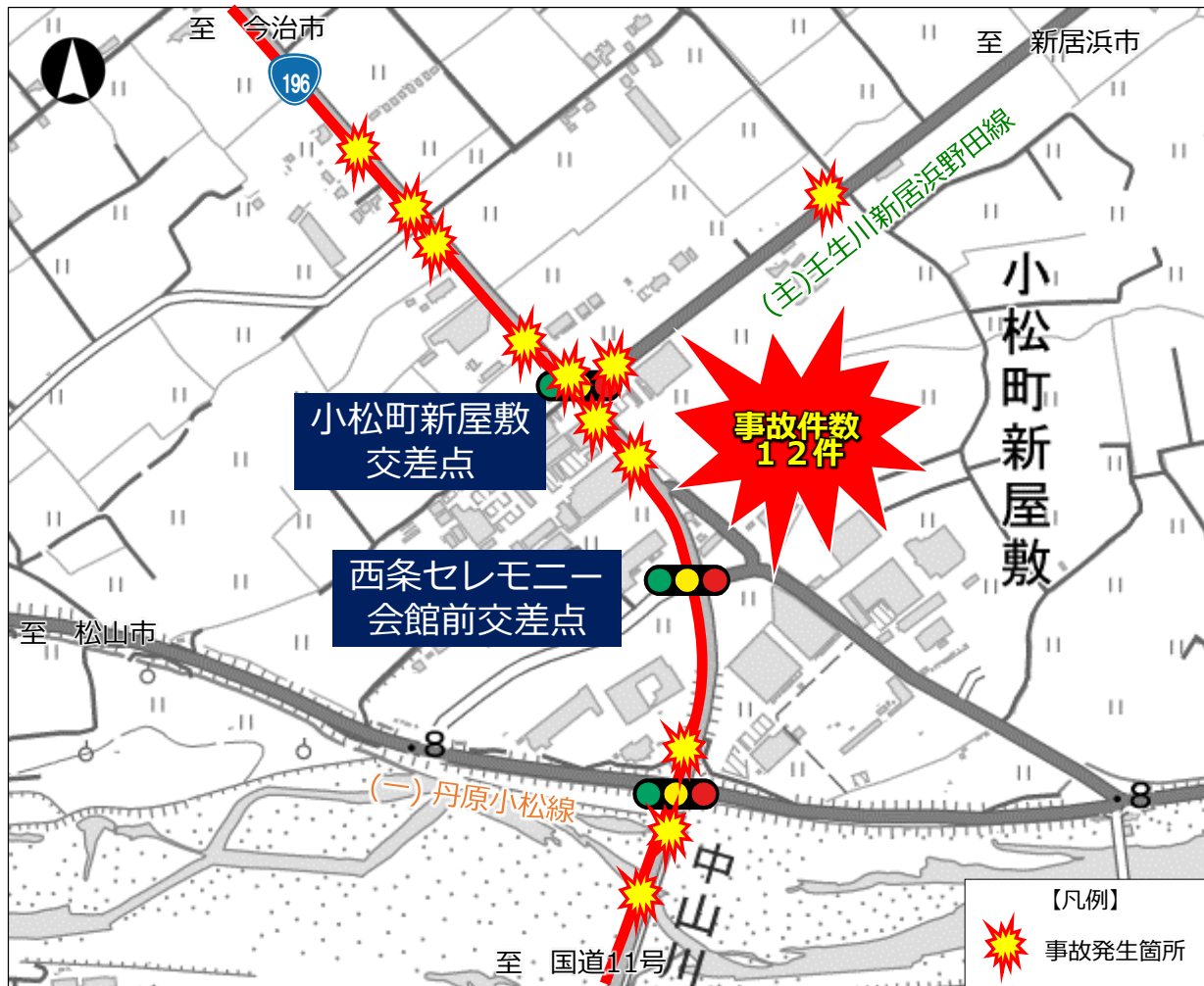


# 渋滞緩和による交通事故減少

こまつちょうしん や しき

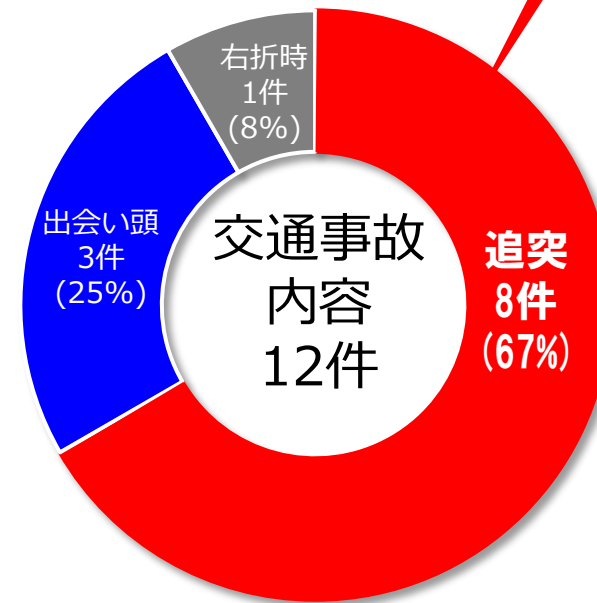
- 小松町新屋敷交差点及び西条セレモニー会館前交差点周辺では、H30～R3の4年間で12件の交通事故が発生しています。
- 交通事故の7割が追突事故であり、その半数が朝夕の通勤時間帯に発生しています。
- 今回の開通により、小松バイパスへの交通転換が図られ、**渋滞緩和による交通事故減少**が期待されます。

小松町新屋敷交差点周辺の交通事故発生状況

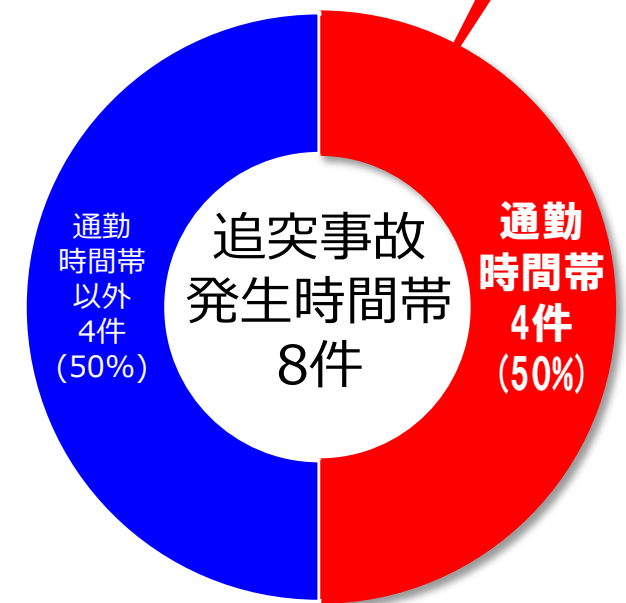


国土地理院地図を基に作成

7割が追突事故



渋滞が発生する通勤時間帯が半数



※通勤時間帯：平日 7時台～9時台及び17時台～19時台  
出典) H30～R3 イタルダデータ

・ 渋滞緩和による追突事故等の減少に期待



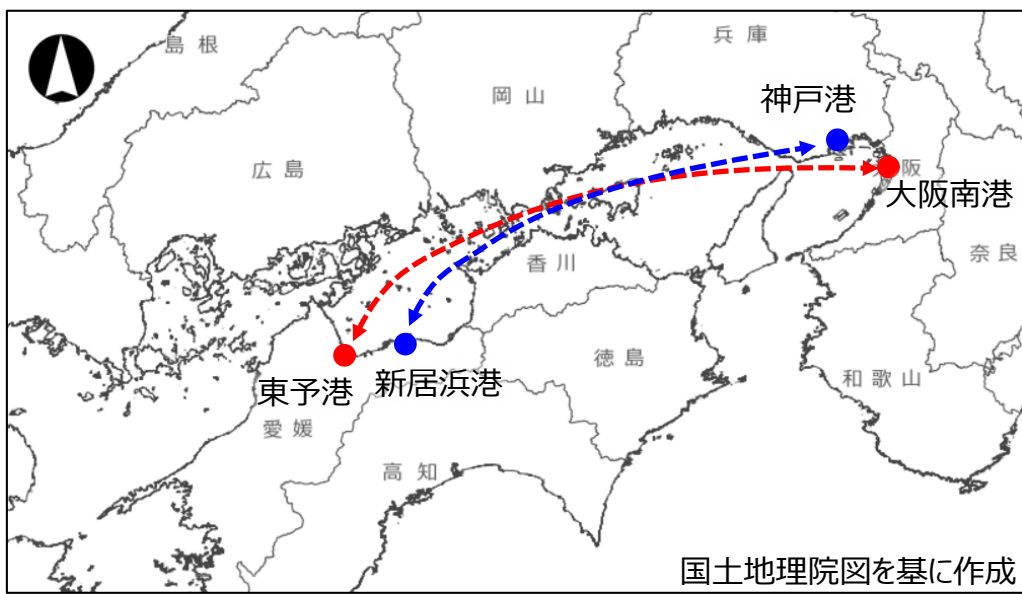


# 東予港を経由する物流の効率化

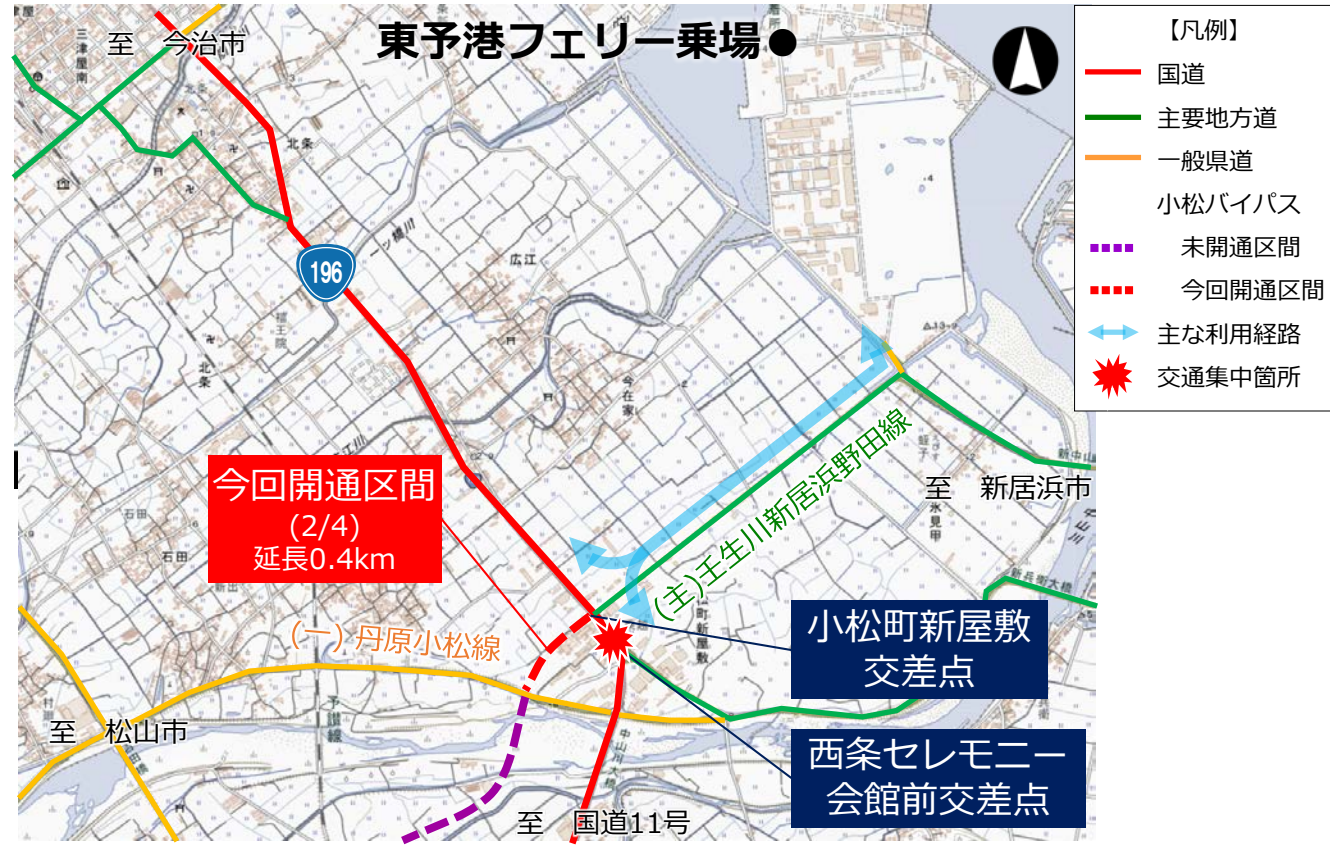
とうよ に い はま

- 愛媛県から近畿方面へのフェリー航路は東予港及び新居浜港のみとなっています。
- 東予港は近畿方面へのフェリー航路の約8割を担っており、トラックが航送車両の5割を占めるなど物流の重要な拠点となっています。
- 今回の開通による渋滞緩和により、**東予港を経由する物流の効率化**が期待されます。

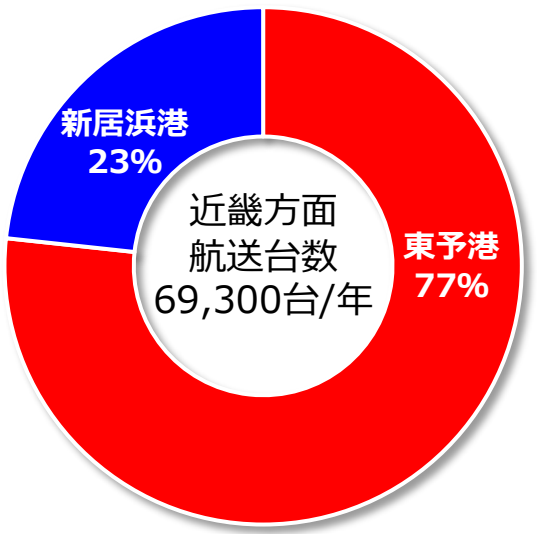
〈愛媛県と近畿方面のフェリーの航路〉



〈東予港への主な利用経路〉

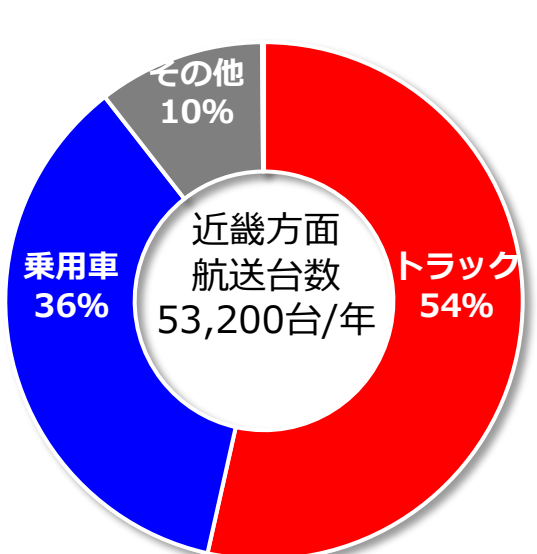


◆近畿方面の航路割合



**8割が東予港を利用**

◆東予港の航送車両



**航送車両の5割がトラック**

・渋滞緩和による東予港経由の物流の効率化に期待

## フェリー会社の声

- ・県道丹原小松線を利用するトラックは、**東予港利用全体の3割程度**となっています。
- ・**400m区間の開通で、通過時間の短縮が期待**されます。
- ・全線開通すれば、**大いに搬送ルートとして利用**することが期待されます。



資料) ヒアリング調査結果 (R5.1)

出典) 令和3年港湾統計(年報)